

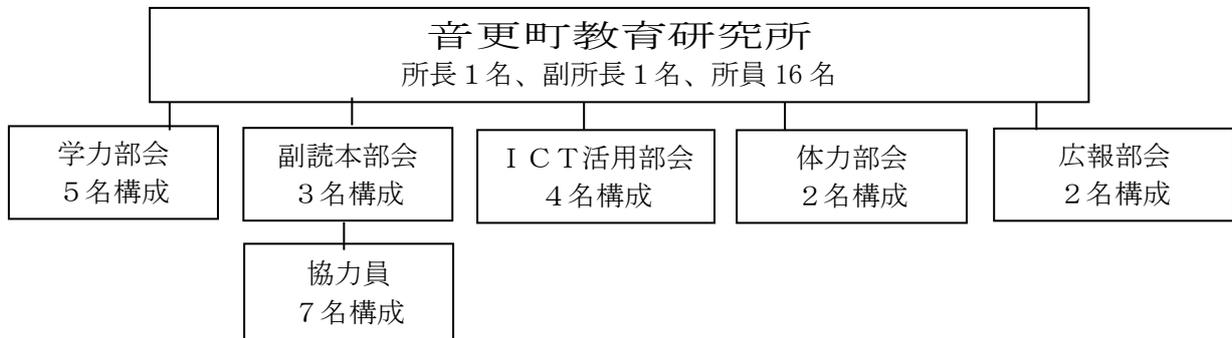
令和6年度 音更町教育研究所事業計画

I 音更町教育研究所における運営

1 活動方針

- (1) 本町教育の今日的な課題解決のために、教育実践に関する調査研究、教育資料の収集・作成、各学校における研修事業の助成などを行い、学校、関係機関、地域社会と連携・協力し、本町教育の充実・向上を図る。
- (2) 本町教育の実態を組織的、系統的に把握し、実証的データを提供する調査に基づいて、教育の理論と実践に関する研究を推進する。
- (3) 所員の研修を深め、資質向上に努める。
- (4) ICT 機器活用推進のための必要な情報および技能等の収集および取得を目的とし、広く町内教職員の研修を深め、資質向上に努める。

2 組織構成図



3 会議の開催

- (1) 所員会議・研修会の開催 ～年 7 回（4・5・6・9・11・12・2 月各 1 回）
- (2) 所長・副署長会議 ～年 2 回程度～
- (3) 所長・副所長・部長会議 ～年 2 回程度

II 主な事業計画

1 指導力向上事業

- (1) 健やかな体の育成【体力部会】
 - ・ 児童生徒の体力向上と運動習慣の確立に向けた指導者の指導力向上を図る
 - ・ 体育科授業の充実と運動習慣の確立に向けた実践例を紹介（関係機関との連携）
- (2) 確かな学力の向上【ICT活用部会】
 - ・ ロイロノートの効果的活用による授業改革の方策を探る研修機会を提供
 - ・ 各種コンテンツ及びデジタル教科書の活用実践から、次年度の購入計画の方向性を示す
- (3) 豊かな人間性の育成【学力部会】
 - ・ キャリアパスポート活用に係るアンケートを実施し、その充実を目指すとともに町研究所としての方向性を提示

2 音更町児童生徒実態分析事業

- (1) 「音更町の子どもの学力」発刊 ～10 月予定【学力部会】
R 5 年度実施の標準学力調査結果の分析考察
調査結果分析と考察、授業改善に向けて（小学校算数科）
- (2) 「音更町の学力の傾向と改善のポイント」発刊 ～2 月予定【学力部会】
令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果の分析と考察（調査全教科）
- (3) 「音更町の子どもの体力と今後の取組」発刊【体力部会】～11 月予定
前年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析、授業改革に向けて

3 研修活性化事業

(1) 授業改革研修会

- ・ 外部講師を招聘し、授業改革の実践事例の紹介、研修機会の設定

4 広報事業【広報部会】

- #### (1) 所報「おとふけ」の発行 ～年2回（8月・2月）

5 所員研修（所員の資質向上）事業

- (1) 「十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員」の派遣・協力
- (2) 「道東地区教育研究所所員研修会」への派遣 令和6年8月27・28日 釧路
- (3) 「研究発表会」（十勝教育研究所主催）への派遣 令和7年2月6日（木）十勝教育研修センター
- (4) 情報収集等、研究会等への所員派遣

6 小学校社会科副読本（資料集）改訂事業

令和7年度より使用を目指して副読本（資料集）の改訂作業を行う

III 活動のまとめ等

- 1 「音更町の学力の傾向と改善のポイント」（10月発刊）
- 2 「音更町のこどもの学力」（2月発刊）
- 3 「音更町の体力と今後の取り組み」（11月発刊）
- 4 所報「おとふけ」（8月・2月発行）

1 活動方針

- (1) 「土幌町の教育の特色」に基づき、「生きる力」を身につけたたくましい子どもの育成に寄与する。
- (2) 教育研究を総合的な見地から立案し、計画的、実証的、科学的な研究を進める。
- (3) 十勝管内外の教育研究所や教育関係機関との連携を図り、研究の深化と交流に努める。

2 研究事業計画

(1) 小・中連携の充実に関わる研究（継続）

小・中連携にかかわって

小・中学校の9年間を見通した教育課程の構想と実現に向け、小学校から中学校への滑らかな接続（つながり）ができるような教育活動を推進する。

- ① テーマを定め、教職員の交流会を実施する。
※「生活行動」「小学校で身に付けさせる学力」「中学校へ引継ぐ資質・能力」など
- ② 小学校教諭、中学校教諭による他校への出前授業を実施。
※外国語専科教諭の活用
- ③ 授業（参観日、校内研を含む）や学校行事の公開を周知するなど、相互に参観する機会を設ける。
- ④ 土幌町立学校の学びの基本等の統一を検討する。

保・小・中・高連携にかかわって（縦のつながりと横のつながり）

- ① 土幌高校との教職員、児童生徒間の交流を検討する。
- ② 小・小の交流を企画する。（中土幌小と上居辺小は土幌町複式教育研究会による集合学習を実施）
※理科専科教諭・体育専科教諭の活用
- ③ こども園との交流も視野に含める。

(2) ICT教育の推進に関わる研究（継続）

ICT教育にかかわって

町立学校間の連携と統一を図る。

- ① MEXCBTの使用について検討し、教職員へ周知・普及
- ② ニーズに合わせた教職員向け研修会の実施
- ③ タブレット端末の使用環境の整備、活用状況の調査 等

(3) 小学校社会科副読本『しほろ』に関わる研究（継続）

副読本にかかわって

補助資料の改訂、副読本改訂に向けた準備を行う。

- ① 副読本『しほろ』を今後どのように活用して行くのかを検討
- ② 副読本『しほろ』から教科書中心の指導へのスムーズな移行への周知
- ③ 副読本『しほろ』の編集作業 等

(4) その他

- ① 十勝管内教育所連盟共同研究に参加する。
- ② 研究所の活動を紹介した『所報』を発行する。
- ③ 1年間の活動をまとめた『研究紀要』を3月に発行する。

4 土幌町教育研究所組織



令和6年度 上士幌町教育研究所 事業計画

1 活動方針

- (1) 上士幌町子どもビジョンの具現化を目指し、本町教育の今日的課題の解決に努める。
- (2) 各学校の教育実践に資する資料の収集と提供に努める。
- (3) 関係機関・団体との連携を図り、事業の円滑な推進に努める。
- (4) 所員・学校関係職員の研修を深め、資質の向上に努める。
- (5) かみしほろ学園推進本部の方針に基づき、認定こども園・小学校・中学校・高等学校の連携に努める。

2 事業計画

事業内容	詳細
(1) 標準学力検査、icheckの分析・交流	小・中学校での分析結果の交流（3月）
(2) 家庭学習の手引きの発行・改訂	5月に配付、2月に改訂
(3) 学習規律の取組	4月に掲示ポスター（年度の重点課題）を発行し、毎月の児童アンケートで検証
(4) 情報教育	・ICT活用とプログラミング教育に係る授業交流と研修会の開催 ・校内でのタブレット利用のルールづくり及びICT推進教師による情報モラル教室の実施（年2回） ・町P連と連携した「ノースクリーンデー」の取組の推進
(5) かみしほろ学の推進	・3・4年生版郷土読本の見直し ・総合的な学習の時間の教育課程の見直し
(6) iBノート、キャリア・パスポートの見直し	デジタル化も含め使いやすいノートとなるよう見直し
(7) 十勝教育研究所事業への参加	十勝管内教育研究所所員研修会及び教育講演会等への参加
(8) 共同研究事業への積極的な参加・協力	共同研究員の派遣、研究発表大会への参加
(9) 北海道教育研究所連盟事業への参加	道研連及び道東研への参加
(10) 所員会議の開催	担当者会議を随時開催
(11) 研修会の企画・運営	（R5：「自己肯定感の向上に係る研修会」を実施）

3 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等

- (1) 上士幌の子どもの学力
- (2) 家庭学習の手引き改訂版
- (3) 学習規律ポスター
- (4) 校内タブレット利用の心得

4 所員名、所属名、分担

役職	氏名	所属	本町所員歴
所長	山田 圭介	上士幌小学校長	3年目
副所長	小野 つかさ	上士幌小学校教頭	2年目
所員	稲場 麻里	上士幌小学校教諭	1年目
所員	中川 弥生	上士幌小学校教諭	4年目
所員	杉浦 亜弓	上士幌小学校教諭	4年目
所員	山内 崇徳	上士幌小学校教諭	5年目
所員	古田 ひとみ	上士幌小学校教諭	1年目
所員	俵口 修治	上士幌中学校教諭	5年目
所員	尾崎 寛明	上士幌中学校教諭	5年目
所員	田中 直人	上士幌中学校教諭	3年目
所員	岩淵 敏幸	上士幌中学校教諭	1年目
所員	赤江 哲平	上士幌中学校教諭	2年目
事務局	大原 拓人	上士幌町教育委員会	1年目

5 その他

- (1) 教職員アンケートを基に、今日的な教育課題の解決に向けた研修会等を開催し、教職員の資質能力の向上に努める。
- (2) かみしほろ学園と連携し、情報の共有を図るとともに、本町の教育課題の解決に努める。

令和6年度 鹿追町立教育研究所 事業計画

1 活動方針

人間性豊かな児童・生徒の育成を期して、創意に富む地域に根ざした教育研究の推進に努める。

- (1) 今日的教育課題に対応した調査研究を行い、各学校の活用に資する。
- (2) 地域の実態を踏まえ、学習指導や生徒指導上の教育諸課題に応える解決方法手段について調査研究をし、各学校での活用に資する。
- (3) 学校教育の課題に応える現職教育の充実に努める。
- (4) 教育実践上の悩みや問題に応えるため、資料の収集や紹介に努める。

2 今年度の事業内容

- (1) 探究学習の実践的研究
- (2) 環境教育のカリキュラム研究（シオパークとの連携）
- (3) 社会科副読資料集（3・4年）の見直し作業
- (4) 十勝教育研究所への協力
 - *管内教育研究所所員研修会の提言
 - *共同研究・協力員研究の協力

3 事業計画（部会構成と所員会議等）

- (1) 部会構成
 - ①授業研究部会（探究学習）
 - ②調査研究部会（環境教育・副読本）

- (2) 所員会議等各種会議について

	内 容	担 当
第1回所員会議 5月10日（金） 町民ホール	*年間事業計画審議 *管内所員研修会レポート発表について	
第2回所員会議 6月18日（火） 町民ホール	*管内所員研修会レポート発表について ・発表内容について ・7月4日に向けて（役割分担等）	
令和6年度十勝管内教育研究所所員 研修会 7月4日（木） 幕別町札内	*管内所員研修会レポート発表・研修	全所員参加
第3回所員会議 9月上旬 町民ホール	各部にわかれて実践研究を行う。	
第4回所員会議 11月下旬 町民ホール	各部の実践研究の進捗状況を交流し取組を進める。	
第5回所員会議 2月中旬 町民ホール	各部会ごとに年度末反省を行った上で 全体交流を行い、次年度につなげる。	

4 所員

所 長 島田 諭（笹川小学校）	所 員 平山 純也（上幌内小学校）
副所長 森 好広（笹川小学校）	所 員 船越 雄人（笹川小学校）
所 員 木下 尊徳（鹿追小学校）	所 員 梅原 翔太（鹿追中学校）
所 員 中山 竜太（鹿追小学校）	所 員 柴崎麻衣子（鹿追中学校）
所 員 新田 遼（瓜幕小学校）	所 員 穠山 昂弘（瓜幕中学校）
所 員 中田 和行（通明小学校）	
協力員 天野 健治（教育委員会）	協力員 シンボ・グレン（教育委員会）

令和6年度 新得町教育研究所 事業計画

1 活動方針

- (1) 新得町における教育の進展改善に資するため、教育研修資料の収集や教育の専門的事項の調査研究を進めるとともに、実践的研修機会および教育実践に役立つ資料の提供に努める。
- (2) 教育研究所員が研修を深め、本町教育の今日的課題を明らかにするとともに、関係各機関との連携をよりいっそう強め、研究研修の質の向上を目指しその課題解決に努める。

2 事業内容

- (1) 学校教育の情報化（児童生徒一人一台端末の効果的な活用について）
 - ・児童生徒の ICT 活用能力を高める授業改善
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための ICT の活用
- (2) 各種調査研究
 - ・標準学力調査の結果データ等の分析と活用
- (3) 小学校社会科副読本の改訂に向けた研究・研修・編集作業（R6年度末に完成）
- (4) ふるさと教育の充実
 - ・町内各地区の「ふるさと教育」系統表の見直し
- (5) 広報事業
 - ・「所報」の発行 年2回（9月中旬・2月下旬予定）
- (6) 十勝教育研究所事業への参加
 - ・十勝管内教育研究所所員研修会への参加 ・教育講演会への参加
- (7) 共同研究事業への積極的な参加・協力
 - ・共同研究員の派遣 ・研究発表大会への参加
- (8) 北海道教育研究所連盟事業への参加
- (9) 所員会議の開催（年9回を予定）
- (10) 町内研修会の企画

3 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等

- (1) 小学校社会科副読本「しんとく」の改訂、発刊
- (2) 「ふるさと教育」系統表

4 所員名、所属名、分担

職名	氏名	所属学校	任 務 ・ 担 当
所 長	池田 圭子	屈足南小	総括、渉外
副所長	山西 一樹	屈足南小	事務局、会計、全体統括
所 員	永井 虹香	新得小	副読本、所報、ふるさと教育の充実
所 員	松田 修一	屈足南小	副読本、所報、ふるさと教育の充実
所 員	柴山 貴大	新得中	十研連共同研究員、副読本、ICT、ふるさと教育の充実
所 員	朝日 誠	屈足中	副読本、ICT、ふるさと教育の充実
所 員	林 孝明	富村牛小中	副読本、ICT、ふるさと教育の充実
会 計	久保沼菜月	教育委員会	会計

5 その他

- (1) 1人1台端末の効果的な活用をするため、プログラミング教育も含めた研修・実践を深めていく。小・中学校の実践上の課題を検証、改善点を明らかにし、課題解決に沿った研修を実施する。
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による授業改善のための研修会等を企画する。

令和6年度 清水町教育研究所 事業計画

1 活動方針

- (1) 地域に根ざした研究所活動を推進する。
- (2) 学校及び本町の要望を生かし、各校と連携協力を図り業務を推進する。
- (3) 資料・情報提供の充実を図る。

2 事業計画

- (1) 学力向上
 - ① 一人一台端末の効果的な活用に関する研究（実態交流、活用事例紹介、等）
 - ② 実技研修会の実施（夏季講習、冬季講習）
 - ③ ICTを活用した授業実践に関する研究
- (2) 小中一貫教育の推進
 - ① 「十勝清水学」の系統性に関する資料提供
- (3) 小学校社会科副読本「しみず」に関する研究
 - ① 小学校社会科副読本「しみず」の改訂編集作業
- (4) 研究所の発行物
 - ① 研究所報第65号（8月上旬予定）
 - ② 研究所報第66号（12月中旬予定）
 - ③ 研究紀要（3月中旬予定）
- (5) 所員研修の充実
 - ① 十勝管内教育研究所所員研修会 7月 4日（木）中札内村
 - ② 道東地区教育研究所所員研修会 8月27日（火）・28日（水）釧路市
 - ③ 北海道教育研究所連盟研究発表大会 8月29日（木）・30日（金）網走市
 - ④ 令和6年度教育講演会 11月13日（水）オンライン
 - ⑤ 十勝教育研究所研究発表大会 2月 6日（木）オンライン
 - ⑥ 道内・道外視察研修
- (6) 道立教育研究所・十勝教育研究所との連携・協力
 - ① 十勝管内教育研究所業務への協力～共同研究者の派遣（御影中 高原教諭）
 - ② 北海道教育研究所連盟事業への参加，調査の協力
- (7) 研究資料及び学校用図書収集・整理
- (8) 所員会議の開催（6月、7月、9月、11月、12月、2月 年6回開催予定）

3 所員名・所属名

役職	所員名	所属名	
所長	佐藤 貴光	清水町立御影小学校	新
副所長	堀口 初枝	清水町立御影中学校	新
所員	戸田 恵文	清水町立清水小学校	新
所員	東森 あゆみ	清水町立清水小学校	
所員	亀山 真由美	清水町立御影小学校	
所員	土井 誠人	清水町立清水中学校	新
所員	山内 優萌	清水町立清水中学校	
所員	高原 悠輔	清水町立御影中学校	新

令和6年度 芽室町教育研究所 事業計画

1 活動方針

- (1) 教育研究所員の研修を進め本町教育の今日的課題を明らかにするとともに、その課題解決に努め教育の充実に資する。
- (2) 教育研究資料の収集や調査研究を進め、町内各学校の教育実践に役立つ資料の提供に努める。

2 事業推進内容

- (1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (継続)
 - ～「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる授業」の実現～
 - ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成するため、ICTを活用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的充実に図る授業の構築
 - ・各ソフトウェア（Qubena、LifeisTech、Classroom等）活用の実践検証
 - ・「指導の個別化」と「学習の個性化」を実現する授業形態の実践検証
 - ・小中9年間の発達段階に応じた情報活用能力の評価基準の作成
- (2) めむろ未来学の検証改善について (継続)
 - ・子どもが「ワクワク・ドキドキ・芽室にクギツケ」になる探究・提案・発信型の学びへの改善・充実（カリキュラムに対応する実践例の蓄積）
 - ・食農教育の実践検証（指導案の蓄積）
- (3) 小学校副読本について (新規)
 - ・改訂作業
- (4) 十勝教育研究所共同研究への協力 (依頼連携)
 - ・十勝教育研究所共同研究 — 研究員派遣
- (5) 各種研究会・研修会への参加
 - ・道東地区教育研究所所員研修会、十勝管内教育研究所連絡協議会所員研修会への参加
 - ・教育講演会への参加 (毎年実施)
 - ・十勝教育研究所研究発表大会への参加
 - ・とちか教育講演会、教育講演会への参加
 - ・全道教育研究所所員研修会への参加
 - ・その他各種研究会・研修会への参加（所員研修 道研、先進地域等への視察研修）
 - ◎所員研修 道研等 ◎先進地域等への視察研修

3 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等

- ・研究所報の発行 2回（7月・3月）

4 所員の構成と任務

役職	氏名	学校名	主な業務内容
所長	椿原雅章	芽室西小学校	総括渉外
副所長	和田秀治	芽室南小学校	事務局各種研究会関係
所員	松井孝之	芽室小学校	
〃	長野隆宏	上美生小学校	
〃	石田学	芽室西小学校	
〃	中村俊太	芽室南小学校	十勝教育研究所共同研究員
〃	川人美波子	芽室中学校	
〃	大島謙	上美生中学校	
〃	渡邊優美	芽室西中学校	
会計	林宏明	町教育委員会	会計業務

* 十勝教育研究所への共同研究員の派遣。

5 その他

- ・芽室町教育研究所事務局 082-0044 河西郡芽室町芽室南2線30番地
芽室町立芽室西中学校（教頭 和田 秀治）

令和6年度中札内村教育研究所事業計画

1 活動の方針

中札内村の今日的な教育課題を受け、その解決のために方策及び教育実践に役立つ資料等の提供を行うとともに、村教育推進に必要な事業の推進に努める。

2 活動の重点

- (1) 各校が直面している教育上の課題及び地域の要望に基づいた調査、研究や資料の収集、提供に努める。
- (2) 村及び教育意委員会が推進しようとする実践上の教育課題（教育行政執行方針）の計画、推進の樹立に努める。
- (3) 学校教育と社会教育との連携の在り方及びその推進について研究を進める。

3 事業内容

(1) 研究活動に関する事業

No.	事業	内容
1	今日的な教育課題に関する研究 ・ふるさと教育の研究・推進 ・中札内村にかかわる検定制作	9年間を見通した「なかさつないがく」の研究・整備 地域検定等の制作・活用
2	小中高連携充実に向けた研究推進 ・教職員向け研修会の開催	教職員向け研修会の開催
3	十勝教育研究所・共同研究	個別最適な学びと、協働的な学びを実現する教育活動の推進
4	家庭教育充実に向けた社会教育と学校教育の連携推進 家庭・地域と学校との連携推進	ふるさと教育に関する人材・資料等整備
5	所報の発行	計画や成果の発信

(2) 十勝教育研究所研修活動に関する事業

No.	研修会	期日内容	会場
1	十勝管内教育研究所所員研修会	7月4日（木）	中札内文化創造センター
2	十勝教育研究所研究発表大会	2月6日（木）	オンライン開催

(3) 研究所員と担当

役職	氏名	所属	主な担当事業
所長	菅原 晴彦	上札内小学校	教育に関する調査・研究、資料収集、研究所運営
副所長	渡部 一博	中札内高等養護学校	小中高連携充実に向けた研修推進
事務局	政所 敬志	中札内中学校	会計、広報活動
所員	林 千登勢	上札内小学校	ふるさと教育に関する研究、地域検定制作
所員	土橋 真理	中札内小学校	十勝教育研究所との共同研究の推進、ふるさと教育に関する研究
所員	高橋 将史	中札内中学校	ふるさと教育に関する研究、地域検定制作
所員	伊藤 啓展	中札内村教育委員会	小中高連携充実に向けた研修推進 二村連携担当
所員	中村 萌乃	中札内村教育委員会	家庭教育充実に向けた社会教育と学校教育の連携推進

令和6年度 更別村教育研究所事業計画

1 活動方針

- (1) 更別村の教育の今日的課題を明らかにするとともに、学校教育実践上の課題についての調査研究を進め、教育推進の充実に資する。
- (2) 各学校の教育実践に役立つ資料等の収集・提供に努める。
- (3) 所員の研修を深め、資質や能力の向上に努める。

2 事業計画

- (1) 幼保小中高及び地域と連携した教育活動の充実
(幼保小中高及び地域と連携した教育活動実践記録の発行)
- (2) いじめ、不登校未然防止の研究
(QUの実施、分析)
- (3) ICT利活用の研究
- (4) 副読本ふり返しワークの作成
- (5) 二村教育委員会連携教職員研修会の実施
令和6年8月1日(木) 10時00分～11時30分
中札内文化創造センター(中札内村東4条南6丁目1番地3)
- (6) 十勝教育研究所及び他町村との連携、協力
(十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員)
- (7) 各種研究会・研修会の参加
 - ①令和6年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会
 - ②令和6年度十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会
 - ③令和6年度十勝管内教育研究所所員研修会
 - ④令和6年度二村教育委員会連携教職員研修会
 - ⑤令和6年度道東地区教育研究所所員研修会
 - ⑥令和6年度第79回北海道教育研究所連盟研究発表大会
 - ⑦令和6年度教育講演会
 - ⑧令和6年度十勝教育研究所研究発表大会
- (8) 所報の発行
- (9) 研究のまとめ(『更別の教育』)

3 本年度の発行予定

- (1) 所報
- (2) 研究のまとめ(『更別の教育』)
- (3) 副読本ふり返しワーク
- (4) 幼保小中高及び地域と連携した教育活動実践記録

役職	氏名	所属		業務分担
所長	長澤 啓二	上更別小学校	校長	全体総括 会計 幼保小中高等連携 副読本ふり返しワーク
副所長	山野 圭	更別小学校	教頭	所長代行 所報・研究のまとめ 副読本ふり返しワーク
所員	稲見 千鶴子	更別小学校	教諭	副読本ふり返しワーク
所員	高橋 純	更別小学校	教諭	ICT利活用
所員	原田 憲未	上更別小学校	教諭	十勝教育研究所共同研究員 副読本ふり返しワーク
所員	松林 一彦	更別中央中学校	教諭	ICT利活用
所員	亀谷 知樹	更別中央中学校	教諭	QU検査
所員	伊藤 啓展	更別村教育委員会	指導参事	二村教育委員会連携教職員研修会 ICT利活用 副読本ふり返しワーク
協力員	仲野 公章	更別小学校	教諭	副読本ふり返しワーク
協力員	高城 辰志	上更別小学校	教諭	副読本ふり返しワーク

○更別村教育研究所 ・所在地：更別村立更別小学校(副所長 山野 圭)

Tel 0155-52-2360 Fax 0155-52-3571

令和6年度 大樹町教育研究所事業計画（案）

1 活動方針

大樹町教育目標の具現化に向けて、大樹町における教育の総合的な研究及び学習内容や方法等の開発を行い、大樹町教育の振興に資する。

2 活動の重点

- (1) 本町教育における今日的な教育課題の解決に向けた方策や教育実践に役立つ資料の提供に努める。
- (2) 日常の授業実践に結び付く教師の研修活動を支援し、教職員の資質・能力の向上に努める。
- (3) 生涯学習振興のための研究・資料作成の推進に努める。
- (4) 十勝教育研究所や各教育研究所との連携を図り、教育研究の推進に努める。

3 事業計画

(1) 研修活動

① 各種研修会・研究発表大会参加

- ・ 7月 4日(木) 十勝管内教育研究所所員研修会（中札内）
- ・ 8月27日(火) 道東地区教育研究所所員研修会（釧路）
28日(水) //
- ・ 8月29日(木) 第79回北海道教育研究所連盟研究発表大会（網走）
30日(金) //
- ・ 11月13日(木) 教育講演会（オンライン）
- ・ 2月 6日(木) 十勝教育研究所研究発表大会（オンライン）

② 十勝教育研究所との共同研究活動の推進（共同研究員：齊藤教諭）

③ 「大樹町教育の日」講演会の共催

④ 大樹町コスモスコンサートの共催

⑤ 所員会議 年間3回開催

- ・ 第1回 6月11日（火） ・ 第2回 8月下旬 ・ 第3回 3月上旬

(2) 広報活動

① 所報「たいき」の発行 ・ 127号（7月発行）・128号（3月発行）

② 各種関係機関、団体との連携等

(3) 研究活動

① 研修講座 11月下旬

② 全国学力・学習状況調査の分析と方策【担当：菅原副所長、鈴木所員】

- ・ 分析結果を町広報誌（小学校10月号、中学校11月号）に掲載し、各世帯に配布

③ 大樹町小中学校における学習のきまりの共有

④ CRTの分析と共有

⑤ 町生涯学習推進への協力（「大樹町学校の歴史」作成）

4 所員名簿

所長	大石浩之	大樹中	代表・統括	副所長	菅原弘貴	大樹小	事務局・会計・講座・歴史
所員	齊藤織斗	大樹小	協力員・講座	所員	今井浩介	大樹小	所報・学力
所員	小室日向子	大樹小	所報・CRT	所員	鈴木崇伸	大樹中	所報・学力
所員	田村陽和	大樹中	講座・CRT	所員	小柳康根	町教委	講座・所報・歴史

令和6年度 広尾町教育研究所の事業

広尾町教育研究所長 緑川 昌浩

1 活動方針

- (1) 広尾町の教育における今日的な課題を受け、課題解決の方策を探り、教育実践に役立つ資料提供に努め、町教育の推進・充実に資する。
- (2) 所員研修を深め、資質向上に努める。
- (3) 事業計画を明確にし、互いに連携して業務の迅速な処理に努める。

2 所員構成と業務分担

職名	氏名	所属	担当業務	職名	氏名	所属	担当業務
所長	緑川 昌浩	豊似小	全体統括	所員	井原 育美	広尾小	教科 (ICT) 部会
副所長	喜多 徹	広尾小	総務・所報	所員	黒沼 史佳	豊似小	学力部会
所員	山下 喜久	広尾中	共同研究	主事	畑田隆之介	町教委	総務

3 今年度の活動

(1) 所員会議

ア 年8回開催し、業務の推進を図る。

(2) 主催講座(2学期の実施を目途に計画)

ア 日時
イ 演題
ウ 講師

(3) 調査・研究

ア 今年度からスタートする「ひろお学」の推進・充実に関する調査・研究

- ・9年間の義務教育を通じて、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指し、地域の人的・物的資源を積極的に取り入れながら、探究的な学習や協働的な学習を推進・充実するための調査・研究を行う。

イ 今年度からスタートする9年間を見据えた「学習規律」の推進に関する調査・研究(学力部会)

- ・今までのものを見直し、今年度から「令和の日本型学校教育」の実現に資する9年間を見据えた新たな学習規律を推進していく。

ウ 「ICT活用推進」に関する調査・研究（教科部会）

- ・最大限ICTを活用し授業改善を図るため、教員が身に付けるべき資質・能力を調査し、必要な研修会を開催する。

(4) 研究所員の資質向上

ア 各種講座・研究会等

- ・十勝管内教育研究所所員研修会（7月4日（木）中札内文化創造センター）
- ・道東地区教育研究所所員研修会（8月27日（火）、28日（水）
釧路市生涯学習センターまなぼっと）
- ・教育講演会（11月13日（水） Zoom）
- ・十勝教育研究所発表大会（2月6日（木） Zoom）

イ 「ひろお学」推進・充実に関わる学習会

- ・十勝教育局による要請訪問等を検討中

(5) 十勝教育研究所との連携（共同研究員）

- ア 共同研究を通じた十勝教育研究所との連携・協力

(6) 所報による情報発信（総務）

- ア 事業内容や各校の実践（7月）
- イ 事業報告や各種研修会の報告、各校の実践（3月）

4 活動のまとめ

- (1) 「ひろお学」の推進・充実に関する調査・研究資料
- (2) 所報「ひろお」No.88、89

5 研究推進における諸課題

- (1) 「ひろお学」の推進・充実において、目標を実現するにふさわしい探究課題を設定するとともに、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の設定が不可欠であり、児童にとって本気で真剣な「ひろおの魅力調べよう。」へと繋げていく必要がある。
- (2) 「学習規律」の推進において、まずは所員研修が不可欠である。また、「学習規律」の重要性を各校に広め、定着させる必要がある。



令和6年度 幕別町教育研究所 事業計画

1 活動方針

- 1 本町における教育の進展改善に資するため、教育研修資料の収集や教育の専門的事項の調査研究を進めるとともに、実践的研修機会および教育実践に役立つ資料の提供に努める。
- 2 教育研究所員が研修を深め、本町教育の今日的課題を明らかにするとともに、関係各機関との連携をよりいっそう強め、研究研修の質の向上を目指しその課題解決に努める。

2 事業内容

1 研究・研修

- (1) 生徒指導の機能を生かした学級・授業づくりの研究・研修
 - ①Q-Uを活用した集団づくりに関する研究
 - ②Q-Uテストへの理解を深める研修
- (2) 学校ICT利活用推進に関する研修
 - ①GIGA スクール構想、学校DXに係る調査研究
 - ②一人1台端末活用推進に係る研究 ～ ロイロノートの利活用について
- (3) 幕別町の子どもたちの学力についての研修
 - ①学力調査による分析
 - ②十勝管内教育研究所所員研修会「学び部会」提言
- (4) 学校ミドルリーダー育成に向けた研修
 - ①学校教育における諸課題の解決に向けた研修
 - ・小中一貫、C・S
 - ・学校地域協働活動 など

2 各種調査研究への協力

3 広報事業

- (1) 「所報」の発行 No.84 (10月上旬) ・ No.85 (2月下旬)
- (2) 「研究紀要」の発行 (2月下旬)

4 十勝教育研究所との連携

- (1) 共同研究への参加と研究成果の還流 (所員の派遣：十勝研究所からの依頼を校長会で調整)
- (2) 研修会等
 - ①十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会 5月30日(木) ※副所長参加予定
 - ②十勝管内教育研究所所員研修会 7月4日(金) ※全員参加予定
 - ③道東地区教育研究所員研修会(釧路大会)
8月27日(火)～28日(水) ※所長参加予定
 - ④第79回北海道教育研究所連盟研究発表大会網走大会
8月29日(木)～30日(金) ※所長、副所長参加予定
 - ③とちか教育講演会 11月13日(火) ※全員参加予定
 - ④十勝教育研究所研究発表大会 2月6日(木) ※全員参加予定

5 北海道教育研究所連盟との連携

- (1) 研修会等
 - ①連盟総会及び所長研修会
 - ②教育研究所夏季所員研修会
 - ③北海道教育研究所連盟研究発表大会

6 その他

(1) 研修会等

- ①「こだまの会」主催の研修会
- ②十勝管内教育委員会連絡協議会研究指定校発表会

③ 所員の構成と担当 ※敬称略 十勝教育研究所共同研究員

職名	氏名	所属学校	担当		
所長	浪内 洋一	忠類小	継続	総括、渉外	
副所長	伊藤 健	札内北小	継続	事務局、会計、全体統括	
所員	我妻 隆	幕別小	継続	◎学力調査	
所員	田中 未来	白人小	新規	ICT	所報No. 84
所員	糸山 智美	札内南小	継続	◎ミドルリーダー	
所員	實吉奈津美	札内北小	新規	◎QU	
所員	長澤 翔太	幕別中	継続	◎ICT	十勝教育研究所共同研究員
所員	遠藤 宏一	札内中	新規	学力調査	
所員	川原すみれ	札内東中	新規	ミドルリーダー	所報No. 85
所員	吉田 潤子	忠類中	新規	QU	研究紀要

④ 所員会議・研修会議の計画（15：00～）

回	内容（昨年度実績）	令和4年度予定
第1回	・辞令（委嘱状）交付 ・令和6年度事業推進について	5月14日（火） 町教委会議室 15:00～
第2回	・各事業推進予定について ・事業部会	6月 3週ころ 札内コミプラ 15:00～
第3回	・所員研修会 ・各事業推進について（各担当より）	7月 3週ころ 札内コミプラ 15:00～
第4回	・研修会、研究会参加対応 ・各事業推進について（各担当より）	8月 3週ころ 札内コミプラ 15:00～
第5回	・各事業推進について（各担当より）	9月 2週ころ 札内コミプラ 15:00～
第6回	・各事業推進について（各担当より）	10月 2週ころ 札内コミプラ 15:00～
第7回	・各事業推進について（各担当より）	11月 2週ころ 札内コミプラ 15:00～
第8回	・各事業推進について（各担当より）	12月 3週ころ 札内コミプラ 15:00～
第9回	・各事業推進について（各担当より）	1月 4週ころ 札内コミプラ 15:00～
第10回	・各事業推進について（各担当より）	2月 3週ころ 札内コミプラ 15:00～
第11回	・年度末反省、次年度へ向けて	3月 2週ころ 札内コミプラ 15:00～

※会場や時間等については変更の可能性があります。

※「Zoom」を活用したオンラインでの会議や打合せをおこなう場合があります。

令和6年度 池田町教育研究所事業計画

1 活動方針

- (1) 池田町小中学校の教育実践並びに授業改善に結びつく資料の収集と情報提供に努める。
- (2) 教育関係機関、教育関係団体等との連携を図り、事業の円滑な推進に努める。
- (3) 教育研究所員の研修を通して個々の資質向上を図るとともに、本町教育の今日的課題を明らかにし、教育課題の解決並びに教育の充実に資する。

2 事業計画

(1) 研究所の事業

- ①教育計画、教育内容及び教育方法の調査研究に関する事項
- ②教育関係資料の収集及びそれらの研究に関する事項
- ③図書、研究物、研究資料の購入及び編集等に関する事項
- ④教職員の研究に関する事項 ⑤研究相談に関する事項 ⑥その他教育振興に関する事項

I 小中一貫教育の推進に関する研究	
(1) 主な活動内容	
○小中一貫教育の推進	
・先進校の視察・情報収集（池田町教育委員会と池田町教育推進研究会との連携）	
・検討部会での協議内容等の調整 ・推進に向けた取組方策の取りまとめ	
(2) 活動内容の詳細	
○小中一貫教育の推進	
・小中学校教員による授業交流及び合同授業の実施	
・6学年児童の中学校訪問の実施（5月-体育祭総練習、9月-意見発表会、10月-合唱、11月-授業見学・授業体験、*2月-新入生説明会・部活動見学）*中学校管轄	
・中学校において6学年児童に対する小学校教員の授業の実施	
・学習規律「池田っ子 学習のきまり」の検証・改善	
II 広報事業	
①「池田町教育研究所だより」の発行配布（6月・3月）※特別号発行の検討 他	
III 十勝教育研究所との連携	
①共同研究への参加と成果の環流（共同研究員として所員派遣）	
②十勝管内教育研究所連絡協議会・所長研修会	5月30日(研修センター)
③十勝管内教育研究所所員研修会	7月 4日(中札内)
④道東地区教育研究所所員研修会	8月27日～28日(釧路)
⑤道研連研究発表大会	8月29日～30日(網走)
⑥教育講演会 11月13日	⑦十勝教育研究所研究発表大会 2月 6日
IV 研究に関する資料収録	
①研究に関するまとめ（2月下旬）	

3 池田町教育研究所所員

所長 稲葉 珠樹（池田小校長） 次長 田村 浩文（池田小教頭）
所員 堂藤 嗣郎 片岡 真伸 名越 正道（池田小教諭）
所員 政所 知恵 渋谷 真 織田 勇進（池田中教諭）

令和6年度 豊頃町教育研究所事業計画

1 令和6年度 豊頃町教育研究所運営方針

(1) 研究主題

「報徳のおしえ」を礎とした豊頃の特徴ある教育資源を生かし、
知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む学校教育の在り方を求めて

～学校教育と家庭及び地域における実践・評価の一体化の探求～

(2) 基本方針

豊頃町の今日的な教育課題を受け、その解決のための方策及び各校の教育実践に有用な教育研究に努める。

(3) 活動重点

- ① 町教育行政執行方針の具現化に向けた調査・研究
- ② 町内各校の教育上の課題・要望等に応える資料収集及び提供
- ③ 町内小中学校の教育連携、接続の在り方の探求
- ④ 十勝管内外の教育研究機関との連携及び研修機会の活用

(4) 会議

- ① 定例会議：年4回程度
- ② 臨時会議：必要に応じて所長が召集

2 年度教育研究事業及び担当

	業務	主な内容	担当
1	学力・体力向上に関わる研究	・ 家庭学習の手引き ・ 確かな学力の定着化の方策研究	所長・次長 所員
2	小中連携に係る情報収集・資料提供	・ 管内小中連携先進実践校の活動例交流 ・ 道内外の義務教育学校への視察研修幹旋	所長・次長 所員
3	報徳のおしえが生きる授業支援	・ 授業づくりを支援する情報提供 ※過去実践事例の系統的まとめ等	所長・次長 所員
4	ICT活用教育について	・ ICT機器を活用した授業づくりを支援する情報提供 ・ 教育実践の交流	所長 各校1名ずつ
5	社会科副読本資料集	・ 社会科副読本改訂版作成	所長・次長 所員・共同研究員
6	広報活動の実施 研究紀要の作成	・ 7月：巻頭言、活動方針、業務内容、 所員紹介 ・ 3月：巻頭言、活動報告、情報提供等 ・ 3月：豊頃町の教育 発行	次長 所員
7	十勝教育研究所共同研究	・ 研究員としての所員派遣	

3 令和6年度管内・道東等教育研究所関連事業について（予定）

- ① 十勝管内教育研究所所員研修会 7月4日（木）中札内文化創造センター
小副川所長・中野次長・所員 参加
- ② 道東地区教育研究所所員研修会
8月27日（火）～28日（水）釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞
小副川所長・中野次長・所員 参加
- ③ 第79回北海道教育研究所連盟研究発表大会（網走大会）
兼 第66回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会
8月29日（木）～8月30日（金）オホーツク・文化交流センター・Zoomハイブリッド開催
対象／全所員
- ④ とかち教育講演会
11月13日（水） Zoomによるオンライン開催 対象／全所員
- ⑤ 十勝教育研究所研究発表大会
令和7年2月6日（木） Zoomによるオンライン開催 対象／全所員

※十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会
令和6年5月30日（木）開催

4 豊頃町教育研究所組織構成

所長	小副川 浩（大津小 校長）	所員	竹中 悠（豊頃中 教諭）
次長	中野 真一（豊頃小 教頭）	所員	添田佑生子（豊頃中 教諭）
所員	加藤飛露実（豊頃小 教諭）	事務局長	森 直史（教育委員会教育課長）
所員	大山千歌子（豊頃小 教諭）	事務局次長	福田 茂（教育推進員）
所員	金 隆義（大津小 教諭）	共同研究員	近藤 正晃（豊頃小教諭）
		共同研究員	外山 裕士（大津小教諭）

令和6年度 浦幌町教育研究所事業計画

1 活動方針

- (1) 小学校社会科郷土読本「うらほろ」の編集の推進（2年計画）（令和6～7年度）
- (2) 浦幌の子どもの学力向上の推進
- (3) 所報を継続発行し、教育関連の情報提供や研究所事業の啓発に努める。
- (4) 教育関係機関の研究に積極的に参加し、各校に還元する。

2 事業計画

- (1) 小学校社会科郷土読本「うらほろ」の編集の推進（2年計画）（令和6～7年度）

浦幌町教育委員会では、学習指導要領のもとで小学校3年及び4年生が教科書と併用して浦幌町を学ぶ社会科郷土読本を発行してきた。

令和6年度からは、新しい教科書により学習をすることになるが、新しく郷土読本を編集する必要があるのか、浦幌を学ぶための資料集の編集でよいのかについて調査・研究を行う。

 - ①郷土読本を編集する場合
郷土読本の編集（冊子版ORデジタル版）
 - ②郷土読本を編集しない場合
郷土資料集の編集（デジタル資料も含む）
- (2) 学力分析資料「浦幌の子どもの学力」の発行
浦幌町では、長年にわたり教研式標準学力検査（CRT-Ⅱ）を実施し、その結果をまとめ、実態把握を務めるとともに、学習指導の改善・充実を図ってきた。しかし、令和5年度より東京書籍の標準学力調査に移行したことにより、新しく浦幌の児童生徒の学力に関して分析する必要になった。分析資料の発行は全町規模で子どもの学力を把握することができ、各学校において授業改善や校内研修の資料として活用できるように調査・研究していく。
- (3) 浦幌町教育研究所「所報」の発行
教育研究所の事業内容の理解、教育情報の提供、学校間の連携に役立てる。
- (4) 浦幌町教育研究所の事業内容および組織等の見直しと検討
教育研究所の事業内容、運営組織について検討を加え、望ましい運営を図る。
- (5) 十勝研究所および他町村研究所等との連携、協力
各研究所と連携し、研究交流を行うとともに、十勝教育研究所の共同研究に対する協力をを行う。
- (6) 各種教育研究所研修会への参加
 - ・小中一貫コミュニティ・スクール先進自治体（学校）との交流
 - ・十勝管内教育研究所所員研修会 兼 道東地区所員研修会
 - ・教育講演会 ・十勝教育研究所研究発表大会 ・その他

3 本年度発行予定の研究紀要および研究資料

- (1) 小学校社会科郷土読本「うらほろ」の作成（2年計画1年目）
- (2) 学力分析資料「浦幌の子どもの学力」発行
- (3) 浦幌町教育研究所「所報」の発行（年2回～7月、3月）

令和6年度 本別町総合教育研究所 事業計画

1 目的

生涯学習の視点に立った総合的な調査研究を行い教育の振興を図る。

2 活動方針

- (1) 今日の課題や状況を的確に把握・洞察し、本別町教育の充実を期す。
- (2) 町民や各学校、関係機関の要望や意見等を取り入れながら調査・研究を行い学校教育及び社会教育推進の資料を提供する。
- (3) 管内等の各研究団体と交流し、所員自らの研修に努めるとともに研究所の適切な業務推進を図るよう努める。

3 事業計画の概要

(1) 学校教育部

- ①本別町の児童・生徒の学力向上の取組支援
- ②本別町小・中・高等学校の総合的な学習の時間の検討
- ③所報『還流』の発行（10月・2月予定）
- ④既刊紀要・研究成果等の活用促進、研究図書購入・管理
- ⑤十勝教育研究所との連携（共同研究員）
- ⑥所員研修の推進
- ⑦その他

(2) 社会教育部

- ①「ほんべつ学びの日」の推進に関する改善・充実
- ②社会教育活動先進地等の視察・研修
- ③十勝教育研究所との連携
- ④その他

4 所員名一覧

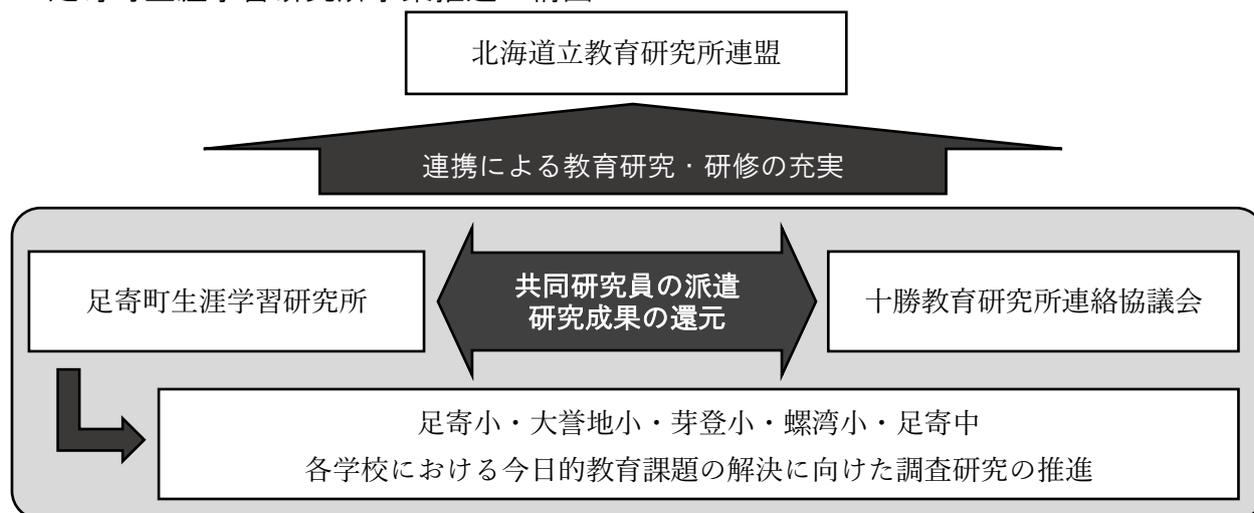
職名	氏名	学校名等	所属・業務分担
所長	舘 英 樹	勇足小学校	学校教育部
副所長	松 原 宏 一	勇足小学校	社会教育部
所員	青 木 佑 真	本別中央小学校	学校教育部 共同研究員
//	引 地 智 也	勇足小学校	学校教育部
//	小 池 友 子	仙美里小学校	学校教育部
//	藤 原 忠 弘	本別中学校	学校教育部
//	松 井 優 二	勇足中学校	学校教育部
//	志戸田 由美子	社会教育委員	社会教育部
//	五 條 政 人	社会教育委員	社会教育部
//	福 良 亜 子	社会教育委員	社会教育部
//	寺 島 康 博	本別町教育委員会	学校教育部（教育指導員）

5 学校教育部所員の派遣

- (1) 十勝管内教育研究所連絡協議会総会 <所長>
- (2) 十勝管内教育研究所所員研修会 <全所員>
- (3) 教育講演会 <全所員>
- (4) 道東地区教育研究所所員研修会 <全所員>
- (5) 十勝教育研究所研究発表大会 <全所員>

令和6年度足寄町生涯学習研究所 事業推進計画

1 足寄町生涯学習研究所事業推進の構図



2 足寄町生涯学習研究所の役割 ～「人づくりの町 足寄町」の構想を受けて～

平成9年3月13日に制定された条例に基づき「足寄町生涯学習研究所」として、足寄町教育目標の具現化を図るものとする。そのため、第6次足寄町教育振興計画に基づき、重点目標である「生きる力を育む教育環境づくり」の実現に向け、調査研究を行うこととする。

3 令和6年度足寄町生涯学習研究所研究主題

【北海道立教育研究所連盟】

- 一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて

【足寄町生涯学習研究所】

- 小中9年間を見通した教育課程の在り方について
～総合的な学習の時間を軸とした資質・能力の育成～

道研連の「子どもを主語にする」という言葉を、足寄町においては、各教科で身に付けた資質・能力を子どもが主体的に発揮することができることと捉え、総合的な学習の時間を軸とした資質・能力の育成に向けた研究を行う。

4 取組内容

- ・各学校における「育成を目指す資質・能力」の具現化に関する調査研究
- ・資質・能力の定着を見取るための、指導と評価の一体化の理解啓発
- ・各教科と総合的な学習の時間をつなぐ教科等横断的な視点の教育課程の在り方のフォーマット作成
- ・総合的な学習の時間に関する教職員を対象とした研修会の実施
- ・教師の授業力向上に関すること
- ・小中連携に関すること
- ・教育情報に関する調査・刊行物の発行
- ・生涯学習に関すること
- ・十勝教育研究所との共同研究推進

5 調査研究推進のためのスケジュール

※現在作成中（6月会議で提示予定）

6 足寄町生涯学習研究所 所員・協力員一覧

	氏名	所属名		氏名	所属名
所長	児玉 祥洋	大誉地小学校	所員	毛利 尚明	教育委員会
副所長	川畑 真輝		所員	遠藤 浩一	
所員	程野 純貴	足寄小学校	所員	福原 聖良	
所員	山岸 和子		協力員	柏木 歴	大誉地小学校
所員	佐藤 琴美	足寄中学校	協力員	関 大伸	芽登小学校
所員	中井祐一郎		協力員	下町 美希	螺湾小学校

所 員	三 腰 瞳				
-----	-------	--	--	--	--

令和6年度 陸別町教育研究所 事業計画

1 活動方針

- (1) 陸別町の各校が直面する教育課題の解決に役立てるため、調査・研究事業を推進する。
- (2) 研究所事業の内容充実と所員の資質向上を図るため、管内、道東で開催される研究所員等を対象とした研修事業に参加する。

2 事業計画

- (1) 陸別の子どもの学力調査
 - * 昨年度の算数・数学に続き、他教科でも学力検査等の結果を基に、系統表を作成する。
 - * 調査結果については、教育課程の改善資料として各学校に提供する。(平成21年度より)
- (2) 陸別の子どもの体力調査
 - * 小・中学校での体力テストの結果を基に、傾向を調査して、その実態を把握する。
 - * 調査結果については、活用できるよう各学校に配布する。
- (3) 陸別町小・中学校一貫教育推進事業への協力
 - * 小・中学校一貫教育に関する資料を収集して各学校に提供する。
- (4) 十勝教育研究所事業への協力・・・小学校主体
 - * 高松ななみ (陸別小学校) : 十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員
- (5) 「研究所だより」の発行(7・3月予定)
- (6) 研究所員等を対象とする研修会への参加
- (7) 家庭学習の手引き・『陸別学習プラン』『陸別生活プラン』活用の検証
- (8) ICT教育の推進
 - * 小中一貫教育推進委員会研修部会との連携を深め、ICT活用に関する情報を収集する。

3 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等

- * 事業計画(1)(2)に関する資料を作成予定

4 所員名・所属名・分担等

職名	氏名	所属学校	主な分担業務
所長	小田浩平	陸別小学校	全体統括
副所長	金子信隆	陸別小学校	庶務，記録集作成，所報の発行
所員	高松ななみ	陸別小学校	調査，資料作成，共同研究員
所員	永山凜	陸別中学校	調査，資料作成

5 その他（予定）

- 4月24日（水） 北海道教育研究所連盟総会（遠隔）
- 5月 日（ ） 第1回所員会議
- 5月30日（木） 十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会
- 6月 4日（火） 第1回十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員会議
- 7月 4日（木） 十勝管内教育研究所所員研修会（中札内）
- 7月 日（ ） 第2回所員会議
- 7月 日（ ） 所報「りくべつの教育」第1号発行予定
- 7月30日（火） 道研連夏季所員研修会（遠隔）
- 8月27日（火）～8月28日（水） 道東地区教育研究所所員研修会（釧路大会）
- 8月29日（木）～8月30日（金） 北海道教育研究所連盟研究発表大会（網走大会）
- 9月 日（ ） 第3回所員会議
- 11月26日（火） 道研連冬季所員研修会（遠隔）
- 12月 日（ ） 第4回所員会議
- 2月 8日（木） 十勝教育研究所研究発表会
- 2月 日（ ） 第5回所員会議「1年間の反省と次年度に向けて」
- 3月上旬 所報「りくべつの教育」第2号発行 予定

※随時、部員による部会を行う。（開催日時について事務局に報告する）

※各種所員研修会・研究発表大会は、全員参加を基本とする。

令和6年度 帯広市教育研究所 事業計画

1 運営方針

教育研究を総合的な見地から立案し、その計画に基づいて実証的・科学的に研究を進める。また、各学校や教育関係機関と密接に連携を図りながら、市民の教育的要望に応えるよう努める。

2 主な事業計画

(1) 学習指導・評価に関する研究

「帯広の子どもの学力」に関する研究…標準学力調査の結果をもとに、基礎・基本を活用する能力を高める指導の在り方に関する実践的研究の推進

(2) 社会科副読本及びおびひろ市民学に関する研究

小学校第3・4学年 社会科副読本「おびひろ」に関する研究、及び「おびひろ市民学」に関する指導方法の研究の推進

(3) 学級経営に関する研究

学級活動の充実に係る研究や資料作成、及び特別支援教育の視点を踏まえた学級経営の在り方等に関する研究の推進

(4) 情報教育に関する研究

1人1台端末の効果的な活用に係るアプリ等の作成や情報発信、及び学校へ出向いての研修出前講座の開催

(5) 生徒指導に関する研究

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の分析及び学校個票に係る資料作成への協力

(6) 教職員の研修に関する研究

学校の現状や教師のニーズに即した人間力等も含めた資質能力の向上に向けた研修プログラムに関する研究の推進（夏季・冬季休業中の研修やエキスパート教職員実務研修等の立案）

3 本年度発行予定の研究紀要等

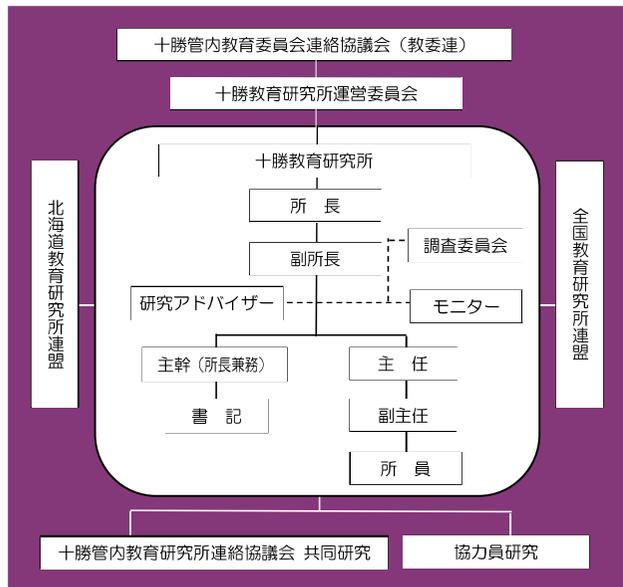
研究紀要第222号 毎年小学校3・5年生、中学校2年生で行っている標準学力検査の分析です。令和4年度の結果を受け、分析を行いました。	【学習指導グループ】 ・帯広の子どもの学力 ～標準学力調査による学力の分析と指導の在り方～	
教育資料第344号 標準学力調査の出題傾向を分析し、各学年において身に付けておくべき力や授業改善のポイントについてまとめた「授業改善通信」を発行しました。	【学習指導・評価グループ】 ・「授業改善通信」 No. 1～ No. 3	
教育資料第345号 小学校3・4年生社会科の副読本の改訂を行いました。QRコードから動画資料を視聴できるなど、より活用しやすいようにしました。	【地域学グループ】 ・令和6年度版 小学校社会科副読本3・4年生「おびひろ」 ・小学校社会科映像資料 「火事からくらしを守る」	
教育資料第346号 おびひろ市民学を普及・広報をする目的で、通信を発行し、各学校の実践を周知しました。	【地域学グループ】 ・「おび学通信」No. 1～ No. 3	
教育資料第347号 学級経営がより円滑に進むように、「学級づくり通信」を発行しました。実践のヒントにご活用いただけます。	【学級経営グループ】 ・「学級づくり通信」No. 1～ No. 2	
教育資料第348号 帯広の児童生徒が端末を使って楽しく学習できる教材です。児童生徒が意欲的に学習できるしかけが満載です。	【情報教育グループ】 ・国語科「漢字習熟確認ボード」改訂 ・小学校社会科副読本3・4年生「おびひろ」デジタル版 ・情報活用能力に関わるアンケート	
教育資料第349号 いじめ、不登校に関する対応について、最新の情報、配慮事項をまとめました。日々の指導にお役立てください。	【生徒指導グループ】 ・生徒指導通信「Bridge」 No. 1～ No. 3	

4 所員名、所属名、分担等

職名	氏名	所属学校	所属グループ	
所 長	新 井 英 樹	市教委		
指導主事	永 井 悠 介	市教委		
指導主事	柴 田 彩	市教委		
調査研究 専門指導員	池 下 栄里子	市教委		
事務員	橋 本 民 枝	市教委		
所 員	主任所員	長 内 直 樹	緑園中	地域学
		佐 藤 太 紀	帯広小	地域学
		村 居 拓 郎	明星小	学級経営
		菅 原 亜 希	北栄小	生徒指導
		藤 島 浩 大	光南小	情報教育
		塩 見 紫 織	豊成小	学級経営
		西 保 美 紀	広陽小	地域学
		齊 藤 隆 広	啓北小	学習指導
		安 田 志 芳	つつじが丘小	学習指導
		亀 谷 直 樹	帯広第一中	生徒指導
		神 下 智 行	帯広第五中	学習指導
		浜 田 康 司	帯広第八中	学級経営
		中 正 憲	南町中	学習指導
		寺 島 徹	西陵中	学級経営
		川 口 航 揮	翔陽中	生徒指導
	佐々木 卓 郎	川西中	情報教育	
	藤 原 悠 大	大空学園	情報教育	



○ 構造図 及び 運営委員会



委員長	菅野勇次 (幕別町教育長)
副委員長	菅原康博 (広尾町教育長)
委員 (監事)	福地 隆 (音更町教育長)
委員 (監事)	小堀雄二 (上士幌町教育長)
委員	多田博昭 (学識経験者)
委員	程野 仁 (芽室町教育長)
委員	有田勝彦 (陸別町教育長)
委員	山田 洋 (十勝教育研究所長)

十勝教育研究所



令和6年度のしごと

環境に優しい業務の推進

○ 所在地
〒089-0531 北海道中川郡幕別町札内眺町 290 番地の 2
TEL 0155-56-2331 FAX 0155-56-4260
Emai staff@tokyoken.net

○ 十勝教育研究所の沿革

昭和24年	2月	十勝教育研究所設立準備委員会設置
昭和26年	6月	研究所設立総会開催、十勝教育研究所並びに維持委員会を発足
	7月	十勝教育会館(帯広市東6南10)が完成、その一室に研究所を置く
昭和32年	12月	「研究所だより」創刊
昭和35年	3月	十勝教育研究所運営委員会設置
昭和37年	7月	「研究所だより」を改編し、広報誌「十勝教育研究」として刊行
	8月	「十勝管内教育関係職員録」を編集刊行
昭和42年	5月	新築された十勝教職員研修センター(幕別町依田)へ移転
昭和50年	4月	十勝管内町村教育研究所との「共同研究」を組織
昭和51年	8月	十勝管内教育研究所連絡協議会設立
昭和62年	4月	帯広市教育研究所が加わり管内全教育研究所の「共同研究」を開始
平成 7年	3月	新築された十勝教育研修センター(幕別町札内眺町)へ移転
平成 9年	2月	十勝教育研究所研究発表大会を継続事業として開始
平成12年	11月	全国教育研究所連盟「教育課題等研究協議会」大分大会で提言
平成13年	11月	全国教育研究所連盟「教育課題等研究協議会」北海道十勝大会開催
平成20年	4月	専任所長の配置
平成27年	9月	北海道教育委員が教育状況調査で来所
令和 4年	5月	テレワーク開始
令和 6年	4月	ホームページリニューアル
※ 全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会兼北海道教育研究所発表大会十勝大会開催 平成8年10月、平成22年9月、令和5年8月		
※ 道東地区教育研究所所員研修会(十勝会場)開催 平成10年9月 平成14年8月 平成18年8月 平成21年9月 平成26年8月 平成30年8月、令和4年8月		

○ 運営の基本方針

十勝教育研究所は、十勝管内教育委員会連絡協議会によって設置されている公的な研究機関である。各市町村教育委員会はもとより、十勝教育局並びに教育関係機関、十勝教育研修センターと密接な連携を図り、その中心的な業務である調査研究、研修活動、資料提供を通して、教職員の人材育成、十勝管内の教育の充実、発展に尽くすことを基本方針とする。

○ 設置

十勝管内教育委員会連絡協議会規約(抜粋)

(教育研究所の設置・運営)

- 第14条 十勝管内の教育振興に寄与するため十勝教育研究所を設置する。
- 教育研究所を運営するため十勝教育研究所運営委員会をおく。
- 前2項の設置、運営について必要な事項は別に定める。

※ 十勝教育研究所のマークの由来



十勝教育研究所

このマークは、昭和40年に当時の土門修所員と廣田良治所員により考案されました。外線が十勝の形を表しアクセントを付けるために海岸線を太くしました。また、当時の十勝は「豆王国」と言われたことから、十勝の地域的な産業のシンボルとして、双葉のマークを入れました。双葉の大小については、見る人の判断（例えば、大は教師、小は育まれる子どもの考え）に任せようと考えました。「○」は太陽を表し、十勝晴れをイメージできるようにしました。

○ 職員一覧

職名	氏名	所属	主な業務分担
所長	山田 洋	専任	所務の掌理 道研連、全教連、管内各教育機関・団体との連携
副所長	横山一仁	札内東中	調査・研究及び研修事業の統轄、業務推進に関する指導・助言、教育研究相談
主幹	所長兼務		庶務の整理、十勝教育研究所運営委員会の開催、各種会議（モニター会議、調査委員会等）の開催、教育関係職員録の編集
主任	柴田悠二	緑南中	所内・業務計画会議の企画、教育講演会、研究発表大会、管内所員研・道東研・道研連発表大会、共同研究、研修講座
副主任	白澤大輔	木野東小	広報誌「十勝教育研究」、教育研究相談、協力員研究、道研事業の連絡調整、研修講座
所員	山本由佳	札内中	共同研究、研究紀要、研究発表大会（発表）、研修講座、webサイトの企画運営
所員	靱山修斗	札内北小	協力員研究、広報誌「十勝教育研究」、学習指導資料「十勝の子どもの学力」、研究紀要、研究発表大会（発表）、webサイトの企画運営、研修講座
所員	佐藤悠樹	音更中	共同研究、広報誌「十勝教育研究」、カリキュラム支援センター、webサイトの企画運営、研修講座
書記	清水悦子	専任	庶務、会計、参考資料の管理

○ 研究機関としての研究

◇ 十勝管内教育研究所連絡協議会 共同研究

「自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育む研究」2/2年次
～考えを広げ深める対話の工夫と、学びをつなげる振り返りを通して～

管内19市町村の教育研究所と十勝教育研究所が一体となって、授業実践を通じた研究を進めます。



対話の工夫で学びを深め、次の学びにつながる振り返りのある授業について研究します。

◇ 十勝教育研究所 協力員研究

「他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育む研究」1/2年次
～日常モラルを生かした学習内容と一人一人が意思決定する学習展開の工夫を通して～

管内の小中学校各1校の協力を得て、協力員2名を委嘱し、授業実践を通じた研究を進めます。



日常モラルの延長上に情報モラル指導を置き、これからの時代に必要な指導を特別活動を切り口に授業づくりを研究します。

○ 関係機関との連携

◇ 全国教育研究所連盟

十勝管内を代表する加盟研究所として、発表大会や研究協議会等に参加し、加盟機関相互の連携を深めるとともに、必要な情報を収集・提供します。

◇ 北海道教育研究所連盟（令和6年度はオホーツク大会）

十勝管内を代表して連盟委員の役割を担っています。共同研究に協力するとともに、研究発表大会に参加し、相互の研究成果交流を通して、北海道教育の充実・発展に寄与し、必要な情報を収集・提供します。

◇ 道東地区教育研究所連絡協議会（令和6年度は釧路大会）

道東地区教育研究所所員研修会に参加・提言するとともに、加盟機関相互の連携を密にして道東地区教育研究の充実を図り、必要な情報を収集・提供します。

◇ 十勝管内教育研究所連絡協議会

十勝管内全ての教育研究所との連携を密にし、教育研究の充実を図り、十勝教育振興に寄与します。



○ 教育研究相談・資料の提供

◇ 教育研究相談

十勝の学力分析を基にした授業改善、調査研究成果を用いた研修などの相談に応じます。

◇ 研究紀要（ホームページでも公開）

十勝教育研究所が調査・研究した成果を資料として提供します。

◇ 学習指導資料「十勝の子どもの学力」（実践例をホームページで公開）

十勝全体の子どもの学力を分析・考察し、学習指導を改善・充実するための基礎的・実践的な資料を提供します。

◇ 広報誌「十勝教育研究」（ホームページでも公開）

学校や個人の取組、町村研究所の紹介、十勝教育研究所の事業、実態調査結果など、最新の情報を広くお伝えします。また、今年度より11月発行号は紙面発刊を止めデジタル配信します。

◇ カリキュラム支援センター（デジタル化の取組も推進しています）

各種教育用図書や各学校・研究所の研究紀要などを教育情報・資料として提供します。

◇ webサイト（ホームページのリニューアル）

各種資料を一人一人の先生方に届くよう進めます。

◇ 教育関係職員録 市町村教育委員会の合冊本として職員録を刊行します。



○ 講演会・研修会の開催

◇ 十勝管内教育研究所所員研修会（令和6年度は中札内大会）

十勝管内における各研究所の今日的課題と役割を明確にし、相互の研究成果の交流を通して研究所員の力量を高めます。

◇ 教育講演会

今年度は、東京学芸大学教育学部・高橋純教授を講師に「(仮)ICT機器を活用した子どもが主体的に学ぶ授業づくり」と題した教育講演会を実施します。

◇ 十勝教育研究所研究発表大会

今年度の調査研究成果をオンライン（1人1台接続）で発表します。

◇ 研修講座「対話の工夫、体験的な学習による授業づくり」

共同研究と協力員研究の成果に基づいた授業づくりの講座です。

